

平成二十一年度

「ぐんまの山村」フォトコンテスト

作品募集!



● 応募期間 ●
9/1 ~ 11/13
(当日消印有効)



H20 最優秀賞作品「好日」田中 栄次 撮影場所：安中市 原市



H20 群馬県教育長賞作品「明日への希望」原澤 紀代子 撮影場所：みなかみ町

山村で暮らす人々を通して、そこに伝わる生活文化や残したい自然など魅力溢れる地域の表情を募集します。

主催：全国山村振興連盟群馬県支部・群馬県
後援：群馬県教育委員会・群馬県観光国際協会・上毛新聞社・群馬テレビ・エフエム群馬
(株)フジカラープロフォトセンター・群馬県写真材料商組合

詳細は、裏面をご覧ください。

き り と り 線

平成21年度「ぐんまの山村」フォトコンテスト応募票

フリガナ	〒 -		TEL :
氏 名	住 所		
題 名			
撮影場所	撮影年月		
取扱店	印は事務局で記入します。	整理番号	

◆平成21年度「ぐんまの山村」フォトコンテスト応募要領◆

1 応募テーマ

山村地域の「自然と暮らし」...山村で暮らす人々を通して、自然と人との関わりや、そこに伝わる生活文化・伝統文化など魅力溢れる地域の表情を募集します。

2 応募・お問合せ先

〒371-8570 前橋市大手町1-1-1

群馬県地域政策課 過疎山振係

(電話027-226-2371)

*㈱フジカラープロフォトセンター取扱店においても応募を受付します。

3 応募の方法

(1) 作品：撮影対象地域(24市町村)において平成20年9月1日以降に撮影され、他のコンテストなどにおいて未発表の作品に限ります。

作品はカラー、モノクロプリントで、サイズは四ツ切り(ワイド四ツ切りを含む。)とします。

(インクジェットプリントの場合は、十分乾燥させてから必ず1枚ごとに透明な袋に入れて下さい。)合成写真は基本的に不可とします。

(2) 応募：作品の裏面に必要事項を記入した表面の「応募票」を貼付してください。(「応募票」は、県のHPからもダウンロードできます。)応募点数の制限は設けません。

4 募集期間(※切は当日消印有効)

平成21年9月1日(火)~11月13日(金)

5 著作権

応募作品の著作権は作者に帰属します。ただし、入賞作品についてコンテストに関する事業の広報や山村地域のPRに資する事業に関する使用については、主催者側が使用できるものとします。

6 応募作品の返却

応募された作品(選外作品)は原則として返却します。県庁地域政策課へ直接応募した場合は、返信用封筒(切手を貼付し、住所を記載すること。)を同封した場合に限り返却します。プロフォトセンター取扱店経由で応募した場合は、応募店経由で返却します。

7 審査及び賞

(1) 審査会：写真家の小松健一氏を審査委員長とした審査会を設置し、入賞作品を決定します。

(2) 賞：最優秀賞1点、優秀賞2点、特別賞6点、入賞20点いずれにも賞状及び記念品を授与します。

* 審査委員長 写真家 小松 健一 氏

1953年、岡山県で生まれ、母の故郷群馬県に育つ。現代写真研究所研究科(第1期生)卒。新聞記者などを経てフリーの写真家に。世界の厳しい風土の中で自然と共生する民族をライフワークに地球巡礼をしている。また、日本の近現代の文学、作家の原風景を切口にした日本人の暮らしと風土や、沖縄、環境問題など社会的なテーマを追い続ける。『ヒマラヤ古寺巡礼』(インデックス・コミュニケーションズ)で2005年日本写真協会賞年度賞、『雲上の神々 - ムスタン・ドルバ』(冬青社)で第2回藤本四八写真文化賞(1999年)、『琉球 - OKINAWA』で第23回視点賞(1998年)を受賞、歌集『春ひそむ冬』(不羈書林)で新日本歌人協会新人賞(1983年)受賞など。現在、日本写真家協会会員、日本写真家ユニオン相談役、全日本写真連盟関東本部委員、日本・ネパール写真交流協会会長など。数年前より本格的に「上州故里」の撮影を開始。個展、著書多数。



8 入賞者の発表及び入賞作品の展示

(1) 審査会の結果については、1月上旬頃、入賞者に対して直接通知します。

(2) 入賞作品は、2月上旬、群馬県庁舎にて展示を行い、表彰式を行います。

その他：応募に当たっては、作品内容の肖像権やプライバシーの保護に配慮してください。

撮影対象地域(24市町村)

高崎市、桐生市、沼田市、渋川市、藤岡市
安中市、みどり市、榛東村、上野村、神流町
下仁田町、南牧村、甘楽町、中之条町、長野原町
嬬恋村、草津町、六合村、高山村、東吾妻町
片品村、川場村、昭和村、みなかみ町

